

第2期木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に係るパブリックコメント実施結果（提出意見及び市の考え方）

- 1 意見募集期間 2月10日（月）から3月10日（火）まで
- 2 案に対する意見の提出結果 8人（18項目）
- 3 提出された意見及び市の考え（なお、提出意見については、要約して記載しています。）

No.	計画案での該当場所			種別	提出意見	市の考え	反映
	基本目標	施策	ページ				
1	全般	全般		意見	<ul style="list-style-type: none"> 戦略のスローガン「子ども育マチ・きづがわいい」の意味がわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略のスローガン「子ども育マチ・きづがわいい」は2頁に記載のとおり、本市独特の造語です。「総合戦略」全般に関するスローガンとして、「子育て・子育てのまち」「広く・長く・愛されるまち」との想いをこめて、第1期総合戦略に掲げたもので、第2期総合戦略（案）においても継承することとしております。 	
				<ul style="list-style-type: none"> 一般市民がわからないような「Society5.0」「SDGs」などの解説がない。また、総合戦略のどこに反映されているのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門用語については、用語解説を追記します。 「Society5.0」「SDGs」については、新しい時代の流れを取り入れて地方創生全体にかかるコンセプトとして取り組むことから、2頁に記載のとおり「戦略の基本方針」に反映しております。なお、各基本目標に「SDGs」の17の目標について該当するものを追記します。 	○	
				<ul style="list-style-type: none"> 第1期総合戦略の総括的な記述がない。 第1期総合戦略の目標達成状況、設定した目標の検討などを行ったうえで第2期総合戦略を作成することが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略（案）は、2頁に記載の総合戦略の基本方針において、総括的には人口が着実に増加していることから、第1期総合戦略を継承することとしております。目標達成状況については、資料として追記します。なお、具体的な第1期総合戦略の評価については、市ホームページにて「令和元年度 第2回 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会（令和元年11月21日）」の会議資料「資料3」「資料3付属」として公開しております。 	○	
				<ul style="list-style-type: none"> 城山台小学校の課題、南加茂台の交通問題、メガソーラー問題と防災対策、新型コロナウイルス対策など、喫緊の課題を見据えた政策がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「総合戦略」は若者を中心とした人口流出の抑制、出産・子育て環境の整備、雇用の確保、情報通信技術の活用、市内外の連携・交流促進といった木津川市の課題を踏まえ、「戦略的に取り組む施策」について体系化するものであり、個別の課題に対する方策を記載するものではありません。なお、ご意見のあった課題については、「第2次総合計画」や各施策における個別計画に基づいて対応してまいります。 		
				<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む地域に対する対策が不明である、市内の人口偏在や高齢化地域に若い世代の転入動機づくりが必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢化が進む地域」「人口減少地域」に対しては、「基本目標6 まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出」の「①多様・多彩な、人と人とのつながりのあるまちづくりの実現」として、まちづくりを行う人材の支援の推進など、また、「③移住・定住の促進」として「空き家バンク」に関する指標を設定し、高齢化が進む地域への人の流れの創出などを推進することとしております。 		

2	1. 学研都市としての特性を活かした産業の活性化、企業誘致・立地による雇用と就業の創出	②安定した付加価値の高い農業の振興	4	提案意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食における地産地消の推進に期待しているが、目標設定がない点について改善を求める。 重点的に取り組む課題であるのであれば、数値目標を設けるべき。 学校給食における地産地消の推進に期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食における地産地消の推進に向けて、食材納入事業者をはじめ市内卸売事業者にも協力を求め、関係部署が連携して具体的に進めていきます。 具体的な目標設定は新センター稼働後に検討してまいります。
					<ul style="list-style-type: none"> 地産地消に係る事業を令和2年度予算に計上し、取り組むべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、必要に応じて予算を計上してまいります。
					<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、国の助成金を活用し地産地消コーディネーターの設置を進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食における地産地消の推進については、農業振興の面からもJAとも協力して生産者とのコーディネートを図ってまいります。
3	2. 「交流人口」「関係人口」の増加、地域住民による「地域活性化・観光」	⑤山城町森林公園の利活用	5	提案	<ul style="list-style-type: none"> 山城町森林公園については、魅力ある施設であるが認知度が低い、オフシーズンにも集客できる「焚火」や「薪ストーブ」に特化した週末カフェなどを近隣事業者や新規開店希望者らに安価で開放してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 山城町森林公園についてはオフシーズンも含めた集客に努めます。 ご提案の内容も参考にしながら指定管理者・事業者と協働し、年間を通して魅力ある施設として利活用を進めてまいります。
4	3. 「子育て支援No. 1」を目指した施策の充実	③新しい時代の流れを力にした最先端の教育環境の充実	6	意見	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長期には自然と触れ合う機会を作ることが大切。ICTやタブレットなどは不要。農業体験などの充実を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> 未来ある子ども達が、社会の変化や国際化・情報化に対応できるようにするため、ICTの活用を進めてまいります。また、本市が有する豊かな歴史・自然環境や文化などの資産を活かした「子育て・子育て」のまちづくりを推進することとしています。
					<ul style="list-style-type: none"> 「最先端の教育環境の充実」でどのように子ども達の個性を活かし、まちへの誇りと愛着が持てるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「最先端の教育環境の充実」と「郷土教育の取り組みによる、まちに誇りと愛着を持てる教育」の両面を推進してまいります。
					<ul style="list-style-type: none"> 城山台小学校の児童急増問題説明会でもあったように、市の市民の意見を聞かない進め方は課題である。先に解決する問題を総合戦略で明らかにせず、どのように教育環境を整えるのか説明されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「総合戦略」は若者を中心とした人口流出の抑制、出産・子育て環境の整備、雇用の確保、情報通信技術の活用、市内外の連携・交流促進といった木津川市の課題を踏まえ、「戦略的に取り組む施策」について体系化するものであり、個別の課題に対する方策を記載するものではありません。教育環境の充実については「第2次総合計画（政策分野2 教育）」や「教育振興基本計画」に基づいて取り組んでまいります。

5	4. 小さな拠点を活用した誰もが活躍できる個性と魅力あふれる地域コミュニティの充実	②公共施設の利活用	7	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・現在活用されていない、市役所敷地内の証明書自動交付機施設において、障がい者就労支援事業の方や、木津川アート関連グッズ販売など市内のグループに定期的に開放し市役所のキヨスク的なスペースとしての活用や、また、中学生がその販売スタッフとしての体験ができるようにする。開かれた市政としてのアピールの場にしては。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設については、現在、災害時の緊急搬出物用備蓄倉庫として活用しております。当該施設に限らず、公共施設の活用について推進してまいります。
		③安心・安全な暮らしの向上	7	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢を理由に自治会から脱退する方が多く、高齢化した地域では地域で支え合うシステムが成り立たなくなっている。自主防災組織や地域コミュニティの充実に課題を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織や地域コミュニティの充実については本項目において「市民の防災意識の向上」を推進するとともに、高齢化した地域への人の流れの創出を目的に、「基本目標6 まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出」の「③移住・定住の促進」といった施策に取り組むことで、高齢化した地域のコミュニティの充実にも寄与するものと考えております。
6	6. まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出	④健康長寿のまちづくり	9	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿のまちづくり」については、「基本項目7」として、特に医療についてしっかり考えてもらいたい。山城南圏域は病床数が少なく（山城南地域医療構想会議）医療僻地となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略（案）では、第1期総合戦略に引き続き「健康長寿」の実現によるまちの活性化を目的としておりますので、「基本項目6」に含めております。また、「基本目標3 「子育て支援No.1」を目指した施策の充実」においても「安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実」を推進することとしております。ご指摘の「医療」に関連する事項については、「第2次総合計画（政策分野3 健康）」に基づいて安心して医療を受けられる体制づくりに取り組んでまいります。